

祝詞



輝く歴史こそ部の誇り

学校法人関西大学

理事長 大西 昭男

関西大学体育会レスリング部が、ここにめでたく記念すべき創部50周年を迎えられ、まことにご慶慶に存じます。またこの記念すべき時に立派な『関西大学レスリング部50年史』を刊行されましたことを心より慶び、重ねてお祝い申し上げます。

本学のレスリング部は第2次世界大戦の後遺症ともいえる世情の中で、学生の力強い結束を力にしてうぶ声を挙げられたと聞き及びます。今日までの50年にわたる歳月の流れの中で、学生としてレスリング部で活躍し、またOBとなっても有形無形の支援を続けてこられた多くの方がたの胸中には、言葉で言い尽くせぬ半世紀の感懐が歎びとなって湧いて尽きぬことと拝察しております。

このように本学でのレスリングは、戦後に取り入れられて急速に普及し大きな輝かしい実績を残してこられました。レスリングそのものの発祥は遠く時代を遡るようで何でも古代ギリシャ時代からあって、はじめは“足蹴り”も自由のままだったということであり、ずいぶん荒々しい格闘技であったように想像しております。それほどまで激しい格闘技でありながら、スポーツとして確立したことには、厳しいルールとスポーツマンシップに裏打ちされたフェアな紳士道が育成され、背骨

として脈々と流れてきたからではないか、と素人の立場ながら信じているのでございます。

関西大学レスリング部の50年の歴史は、燦然たる光を放っております。多くの競技会や選手権大会を制覇したことは言うに及ばず、何と云ってもオリンピック金メダリストを輩出した部であります。この『50年史』は、ここ半世紀にわたるこれらの輝かしい部活動の歴史を誇らかに物語るものとなりました。ともすればスポーツが娯楽等と同義語のようにみられる昨今ですが、一方で厳として「技」や「道」が探究されていることにも大きな意義があり、これに挑戦する若者のバイタリティもまた頼もしいものであります。

互いに汗水ながす肌を接しての競技を通じて結ばれる友情の絆は殊のほか強く、全関大レスリング人の結束には、人も羨むものがあるものと拝察しております。

ここにめでたく上梓された『関西大学レスリング部50年史』が、部の輝かしい実績を証する正史として再認識されて今後の興隆へのきっかけとなり、ひいては「関大スポーツ」隆盛の牽引力にもなればと、これを機に大きな期待を寄せるものでございます。